

ゆきの灯り

第56号

令和3年9月発行
油木協働支援センター
TEL 82-0701
FAX 82-2228

生体学習マスコット：マナビイ



子ども交流会&夏の川遊び



今年度の子ども交流会は、神石協働支援センターのお世話で、8月8日(日)田頭の御所ヶ谷川の川遊びとして開催されました。当日は午後から雨という予報でしたが、なんとか天候に恵まれ、無事行うことができました。参加者は、児童20名、保護者19名、保育所3名、スタッフ20名でした。メインの川遊びはマスのつかみ取り体験です。スタッフが直前に川の瀬や淵に放流し、落ち着くのを待ちます。川は濁水で浅い流れになっており、手づかみには良い条件です。最初は浅い瀬で上から抑え込んで探っていましたが、淵に泳ぐマスは取れません。しかし、後半は皆でチームを組んで上手に追い込み、魚をつかみ探ることができました。さらに、採った魚のさばき方を学びました。キッチンバサミを使って肛門から腹を切り、上手にはらわたを取り、背骨に沿って付いている腎臓(血わた)や鰓を取り除き、洗ったら塩を振りかけます。最後に竹串を刺して出来上がりです。

お魚クイズをやっている間に、スタッフの方々がマス・アユを焼き上げ、焼きナス、唐揚げ、ウインナーも一緒に美味しく頂きました。焼きあがった魚を美味しいと言って食べている子どもが多かったです。うれしく思いました。



マス手づかみ風景



参加児童集合写真



折鶴の献呈

皆さまから各協働支援センターにお預かりした折鶴12万3千羽を、8月19日(木)に広島平和記念公園内の原爆の子の像へ献呈しました。

残念ながら今年もコロナ禍の関係で、第4波の感染拡大期だったこともあり、各協働支援センター職員のみで平和記念公園へ赴き、出迎えて下さった神石高原町友会の藤岡さん、加藤さんと共に黙祷を捧げてから、所定のブースへの献呈となりました。

その後、被爆二世のボランティアガイドさんにより原爆ドーム、原爆死没者慰霊碑、原爆供養塔、被爆樹あおぎり等を案内して頂き、平和について改めて学びました(平和記念資料館、追悼平和祈念館等施設は閉鎖中)。

来年度は油木協働支援センターが当番になります。折鶴作成の協力をよろしくお願いいたします。



献呈風景(赤木センター長)



献呈前の記念撮影

ゆき軽トラ

掘り出し市 PART 2



8月22日(日)、油木百彩館を会場に「わくわく農業チャレンジチーム」が主催して「第2回ゆき軽トラ掘り出し市」を開催しました。

当日は朝の準備の段階から小雨が降り始めたため、急遽会場を駐車場から百彩館前に移動させ、雨で商品も人も濡れないように対応しました。

前回の軽トラ市から一か月しか経っておらず、また、天候不順も続いていたため人の流れも活発ではなくやや寂しい感じもしましたが、心を込めて栽培された農作物や手芸品などを買いたいお客さんとの会話も弾む場面も見られました。

お馴染みの油木高校なます食堂の今回のメニューは、「ナマズラーメン・蜂蜜しもんマフィンセット」で、高校生スタッフも朝から仕込み作業を行い、来店した地域の方や家族・友人たちを相手に忙しく動き回っていました。

また、当日は阪急交通社企画の「大人の酒学旅行」という番組のロケが行われ、ナマズ食堂やナマズ養殖場の取材に高校生たちも参加していました。(番組の詳細は油木高校へ)

今回は11月3日(文化の日)に開催予定です。今年最後の「ゆき軽トラ掘り出し市」となります。



今回も良品が出そろいました



「大人の酒学旅行」ロケ風景

にしかわ化石館 開館前情報!



「にしかわ化石館」の開館が近づいてきました。化石魅力化プロジェクトでは、尾森リーダーを中心に館内のレイアウトや展示物の選別等、最終的な段階にはいりました。

開館前の今の時期からすでに学校関係からの利用希望もあり、関心の高さも感じられます。

油木協働支援センターでは、「西川功さんが生涯を通じて独学で研究・蒐集された学習成果を広く認めてもらい、その成果を社会に適切に生かす。」ことを目的に準備をしています。

いよいよ10月4日(月)、「にしかわ化石館」が開館します。開館時には多くの皆様のご来館をお待ちしています。



展示化石の選別作業

開館後は多くの方々に「西川さんの化石にかけた思い」を感じていただきたいものです。

「にしかわ化石館」開館協賛企画

○化石の魅力発見展
協力:シルトピアカレッジ図書館

○懐かしの市場地区写真展
(西川酒店のあった頃)

10月4日(月)~10月29日(金)

開館
毎週 月・水・金 11:00~19:00
(祝祭日は閉館 入場無料)

油木協働支援センター 0847-82-0701
にしかわ 050-5535-0955



講義風景(上)と化石探し(下)



ゆきキッズクラブ「化石教室」をひらきました

8月7日(土)に、尾森武尊先生を招き、ゆきキッズクラブの「化石教室」を開きました。油木小学校児童10名、大人1名の参加があり、尾森先生から「油木地域の成り立ち」のお話を聞き、宗兼で見つけたオキナワアナジャコ化石から、油木は昔海だったことを学びました。

海だったことがわかった後、外に出て岩石の中に隠れている化石を探しました。岩石に近づき気になる石を持ち上げて観察し、アツガキやクサリサンゴ、フズリナなどを見つけていくことができました。「すごい。」と、見つけ出した嬉しさが伝わってきました。また、化石のレプリカ作りの作業も行いました。



マタタビ



サルナシ

実りの秋 サルナシを知っていますか?

花の季節になると葉の色が白くなるマタタビはよく見かけるとは思いますが、サルナシ(別名コクワ)というマタタビの仲間が油木地区に自生しているのを見つけた。

サルナシはマタタビ科マタタビ族の雌雄異株または雌雄雑居性の落葉つる性木本で、高冷山間地に自生します。つるは赤紫色で太くなると黒っぽくなり、葉はマタタビに比べて幅が広く、光沢があります。果実は長球形の液果で長さ約3cm、キウイフルーツを無毛にして小さくしたような外見で、淡緑黄色に熟すと芳香と甘味があって美味です。種子は多数で黒く、熟した果実は、生食も良いですが、果実酒に使用したり、ジュース、砂糖漬け、シヤムなどにも利用できます。ただし、野生動物も大好物で、サルやクマも食べにきますので気を付けましょう。

パン教室

パン教室を開催します。大人気の教室です。お早めにお申込みください。

- 第1回 10/29(金) クリームパン
- 第2回 11/30(火) スイートドーナツ
- 第3回 12/7(火)?
- 講師: 平田 サエ子 さん
- 開催時間: 午後1時~4時
- 開催場所: 油木山村開発センター
- 定員: 6名
- 参加費: 1,000円(材料費)
- 持参物: エプロン・三角巾・マスク
・めん棒(あれば)
・スケッパー(あれば)

お問合せ・お申込は油木協働支援センターまで。
TEL: 82-0701 FAX: 82-2228
E-mail: y-kyoudou@sky.kagayakinet.ne.jp

大人のアートクラブ

題材: 秋の花

絵を描くのが苦手な人、絵を描いてみたいと思っている人のため、とても簡単に絵を描く教室です。

- 講師: 若林 佐都子 さん
- 開催日時: 令和3年9月27日(月) 午後1時30分~4時頃
- 定員: 6名
- 参加費: 300円(材料費)
- 開催場所: 分室「にしかわ」
- 持参物: 色鉛筆(あれば)
- マスクの着用をお願いします

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今後の状況により、中止・延期をする可能性があります。

キノコ狩り体験会

講師の朽木 孝一さんと共にキノコ狩りを楽しみましょう。

- 9:30 百彩館駐車場へ集合
- 9:50 山へ移動
- 10:00 山できのこを採集(自由行動)
- 12:00 油木コミュニティセンターへ移動
昼食後に研修室にてキノコ観察
- 14:00 解散

- 講師: 朽木 孝一 さん (きのこアドバイザー)
- 開催日時: 令和3年10月16日(土) 午前9時半~午後2時
- 定員: 10名
- 参加費: 300円
- 集合場所: 百彩館駐車場
- 持参物: かご・根切り・弁当・飲料水
※山を歩くため、足元は長靴等しっかりした足回り、服装は蜂対策で白を基本とした長袖、帽子、タオル、軍手、マスクをお願いします。

不定期連載 頭の体操 8月号答え

1の酢やレモンです。

臭みの原因はトリメチルアミンと呼ばれる物質が発生するためです。それを酢やレモン等の柑橘類に含まれるクエン酸が取り除いてくれます。

本紙「ゆきの灯り」52号~55号まで短期連載された「空き家や土地をお持ちの方へ」の特集記事が、「油木協働支援センターにおける空き家・土地活用に関する取り組みの紹介」として、広島神石高原町友会会員の方々に紹介されることとなりました。

本紙情報が、遠く広島市内へお住いの神石高原町出身の方々に届いていることに喜びを感じています。



各事業チームの動き 8月

- 地域づくり部 移住促進・定住チーム
8/23 協議 未来創造課長との意見交換
- 地域づくり部 地域の情報を集めよう会
8/18 協議 4つの寺社の現地視察
- 地域づくり部 市場再生チーム
8/30 →コロナ非常事態のため9/27に延期
- ゆきなび部 化石魅力化プロジェクト
8/23 協議 展示棚の整備 展示品整理
- ゆきなび部 文化イベントチーム
8/06 協議 お寺で音楽イベントを決定
9/03 →コロナ非常事態のため延期
- 福祉部
9/03 →コロナ非常事態のため9/28に延期
- 農商業推進部 地域農業担い手支援チーム
8/02 協議 防草ネット実証試験現地視察・報告等
- 農商業推進部 わくわく農業チャレンジャーチーム
8/22 第2回軽トラ掘り出し市開催

動物駆逐用花火安全講習

次の日程により、保安手帳の更新及び交付をいたします。是非ご参加ください。新規受講者にはDVDを配布いたします。ご家庭に持ち帰り、必ず視聴ください。

更新、5年更新の方には株式会社ライズから案内の手紙が届きますので、そちらをご確認ください。

- 主催 油木協働支援センター
- 講師 株式会社ライズ
- 持参品 写真(2.5×3cm)……新規希望者・再交付の方
※サンングラス・着帽・背景のあるものは不可
- 日時 10月28日(木)
- 時間 午後6時~午後7時
※コロナ感染拡大防止のため、今年度は受付のみです。
- 申込期限 10月15日(金)
- 金額 新規 5,500円(本人負担1,900円)
再交付 5,000円(本人負担1,700円)
花火代金は当日注文に限り半額補助となります。
- ※新規の方は申込時に、住所・氏名・生年月日・電話番号が必要です。



お問合せ・お申込は油木協働支援センターまで。
TEL: 82-0701 FAX: 82-2228
E-mail: y-kyoudou@sky.kagayakinet.ne.jp



TOKYO2020 東京オリンピック・パラリンピック日本代表のみなさん 「感動をありがとう!!」 油木協働支援センター

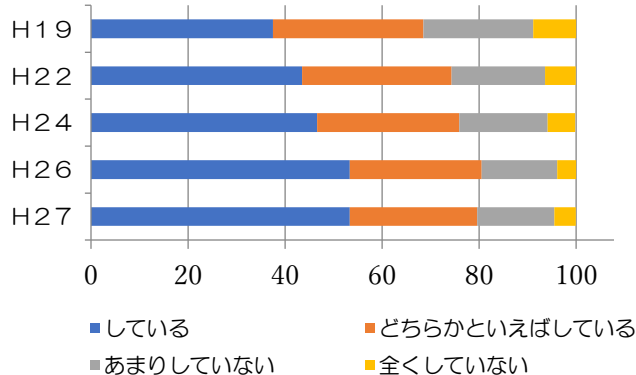
親が子に期待するのと同じくらい、子は親に期待している。「出典: 文部科学省」

親が子を思いやるのは当たり前と思われていますが、どれだけの親が実際に子どもを思いやっていますか。

思いやりとは、子どものことをよく知ることです。よく耳を傾け、子どもの中の世界がどんなものなのかを理解しようとし、たとえ自分の思う通りでなくてもその子の世界を受け入れることです。

子どもの存在に感謝し、尊敬を払い、愛情を深めていくことによって、親子の関係は進歩していきます。思いやりの心をもって接すれば、話をするのが安心して楽しくなり、いじめなどの悩みも自然に親に打ち明けられるようになるはず。

家の人と学校での出来事について話をしていますか 小学6年生



資料
家庭でのコミュニケーション
平成27年 文部科学省
「全国学力・学習状況調査」

